

2025（令和7）年度事業計画

公益財団法人中田俊男記念財団

1. 概要

公益財団法人牛乳博物館は新博物館構想をふまえ、酪農乳業史を広く普及啓蒙を図り、後世に伝授する使命を果たすため、中央及び地域と連携し資産の収集及び公開と教育研修など昨年と同様に下記の事業を実施する。

2. 事業活動

1) 牛乳博物館の運営

- ① 来館者に便宜を図るため、必要に応じて陳列方法の改善及び説明方法の検討を行う。
- ② 来館者に告知するため、ホームページ、ブログ、報道誌などに紹介する。
- ③ 外部団体等から博物館事業に合意させる企画については、会場提供・資産の公開・担当者の派遣など対応する。別紙…要請書が必要
- ④ 博物館の運営の在り方について外部からコンサルタントを招き実施する。
- ⑤ 見学者対応及び資産の分析調査が必要であるが、十分な対応が出来ない為、人員増加を急務の課題として検討する。

2) 牛乳博物館の資産管理

- ① 資産は原則として貸出は行わない。（ただし随行者いる場合は除く）
- ② 資産は新博物館構想をふまえ、専門機関による本格的な目録台帳を作成して管理を行う。
- ③ 資産の補修（書籍を含む）及び保存管理の徹底を行う。
- ④ 展示出来ない資産について保存管理の徹底を行う。
- ⑤ 資産を保存するため、温度・湿度及び防虫管理を行う。

3) 牛乳博物館の資産の収集及び調査分析

- ① 酪農乳業史に必要な資産を収集する。（ただし購入限度額を定める）
- ② 新博物館構想をふまえ、収集資産に必要な分析調査を専門家と共に実施する。
- ③ 参考書籍等を購入し収集資産の分析が必要であるが、人員不足により対応できない状況なので増員を検討する。

- ④ 資産の普及啓蒙を図るため刊行物へ積極的に掲載する。

4) 牛乳博物館の調査及び教育研修

- ① 牛乳博物館担当者は、外部施設において調査及び研修に参加する。
- ② 牛乳博物館担当者はシンポジウムなどの研修に参加する。
- ③ 役員の外部施設の研修に参加する。

3. 事業活動報告

博物館担当者は事業実績を理事会にて報告する。

博物館内の刊行物に発表する。